

諫 早 市 要 望 書

令和元年7月

特 別 要 望

本明川における競技用ボート拠点整備促進について



中央干拓地から本明川下流域を望む

要 望 書

国営諫早湾干拓事業により創出された本明川下流域は、国内屈指の競技用ボート場としての高いポテンシャルを有するとともに、日本代表チームからの高い評価を受けていることなどから、全国大会・合宿の誘致による本市をはじめとする周辺地域における交流人口の拡大や、練習拠点の整備による県内の競技力向上等に寄与するため、県において競技用ボート公認A級コースを整備していただくよう要望します。

【理 由】

本明川下流域においては、平成28年度以降、県・市・民間団体等が連携して取り組む『「いさかん」魅力発見！プロジェクト』において、県民の競技力向上と周辺地域の賑わいを創出することを目的として、民間団体の競技用ボート場の取り組みを支援し、艇庫用地において県有地の無償貸与や県外実業団、大学の合宿に係る受け入れ支援等に県・市が連携して取り組んできたところです。

本年2月に行われた日本代表チームによる合宿では、当該競技用ボート練習場は、約4千メートルの直線コースであり、また、風や波の影響を受けにくい自然環境や市街地に近いという立地条件を備えており、参加者からは高い評価を得たところです。

また、県内高校生及び実業団チームが平成28年度から練習に活用してきた結果、全国大会等で輝かしい成績を残すなど、県内の競技力向上に大きく寄与しております。

現在、コースブイの仮設により試験的運用をしている競技用ボート練習場を、競技用ボート公認A級コースとして整備し、練習環境の充実と全国大会や合宿の誘致を推進することによって、さらに県内外の交流人口や競技人口の拡大、競技力の向上に寄与することが期待できます。

諫早湾干拓地の利活用については、これまでと同様に地域全体を一体とした総合的な取り組みが必要でありますので、利活用対策の一環として、県において競技用ボート公認A級コースを整備していただくよう要望します。

令和元年7月

諫 早 市 長 宮 本 明 雄

諫早市議会議長 田 川 伸 隆

(現地概要)



(全国大会優勝実績)

年度	大会名	種目	成績	所属
平成29年度	第96回全日本選手権大会	男子舵手なしペア	優勝	(株)チョープロ
平成30年度	第97回全日本選手権大会	男子舵手なしペア	優勝	(株)チョープロ
〃	第30回全国高等学校選抜ボート大会	女子ダブルスカル	優勝	大村高校

(競技用ボート合宿実績)

(単位：人)

年度	利用人数	宿泊延人数	利用内容、利用団体
平成28年度	96	0	県内高校生等による強化合宿
平成29年度	209	590	関西電力男子漕艇部、大分県国体チーム、富山国際大学ボートチーム、U19九州地区選考会、JOCエリートアカデミー合宿
平成30年度	118	520	日本代表チーム、熊本大学、九州大学、関西電力男子漕艇部、今治造船ボート部、(株)チョープロ、長崎県国体成年男子選手団、佐賀県チーム、城崎RC、県内高校生等による強化合宿
令和元年度	18	72	熊本大学、デンソー、長崎明誠高校
計	441	1,182	

※令和元年6月末現在

宿泊地は諫早市、長崎市、大村市、雲仙市